

2003年4月14日

各位

積水化学工業株式会社

積水化学が発泡ポリオレフィン事業で韓国映甫化学との提携に合意

- アジア大手発泡ポリオレフィンメーカー映甫化学の株式取得 -

積水化学工業株式会社（本社：大阪市北区 社長：大久保尚武）高機能プラスチックカンパニーのコア事業である発泡ポリオレフィン事業は、現在日本、米国、欧州、アジア、豪州の各地域に生産拠点をもちグローバルに事業展開しています。2002年4月には英国ゾートフォームズ（Zotefoams）社の株式を取得、また同年12月には中国最大手メーカー上海ホンチー（鴻奇）社の経営権を取得し、国内同業としては初めて中国市場に本格進出を果たしました。

そしてこの度、当社では同事業で韓国最大手である映甫化学株式会社（YOUNG BO CHEMICAL CO.,LTD.）の発行済株式の過半数を譲受し、同社と共同でグローバル戦略の一層の強化をはかることとしました。

映甫化学は年間販売量が約6,000トンあり、韓国では大きな市場シェアを保有している企業です。また、アジア地域で換算したシェアも当社に次いで第二位です。当社は同社の発行済株式の過半数を譲受することでIT、自動車、建築用途等が堅実に拡大を続ける韓国市場に進出し、アジア市場でのポジションをより強固なものにします。あわせて、両社の持つ技術を交流させ、各々の海外拠点を活用することで、コスト競争力などグローバル競争力を一層強化し、世界市場でのシェア拡大を加速させます。

1. 当社の発泡ポリオレフィン事業について

発泡ポリオレフィンとは、ポリオレフィン樹脂（ポリエチレン、ポリプロピレン）を加熱発泡させた軟質又は半硬質の発泡体です。当社はその中でも、特に断熱・耐熱性、加工性、耐久性などに優れた独立気泡タイプのシート状発泡体の分野で世界で初めて電子線を使った生産方式を発明したパイオニアです。独立気泡タイプの発泡体は自動車用内装材、家電製品（エアコン等）、建築（断熱、防音材等）、包装・梱包材料などの分野、さらに医療やIT分野（携帯電話等）にまで用途が広がっています。

全世界での独立気泡タイプの発泡体の推定市場は年間約8万トンあり、現在も年間約3%の成長を続けています。

当社は日本、米国、欧州、アジア、豪州に合せて10ヶ所の生産拠点をもちグローバルに事業を展開しており、全世界での同製品のシェアは業界トップであり、35%近くに達しています。映甫化学との提携で45%超までの拡大を視野に入れていきます。

2．韓国の発泡ポリオレフィン市場について

韓国の独立気泡タイプ発泡ポリオレフィンの市場規模は現在年間で約13,000トンと推測しています。IT、自動車分野を中心として市場は着実に成長しており、またこれら成長企業のグローバル戦略の加速で中国をはじめ海外でも事業拡大を続けており、韓国企業向けの需要も増えています。映甫化学は1979年に韓国最初の独立気泡タイプ発泡ポリオレフィンメーカーとして韓国国内にて確固たる基盤を有し、また顧客の海外進出に合わせ広く海外拠点での販売も行っている世界有数のメーカーです。また同社は1997年8月に韓国株式市場に上場を果たしている唯一の発泡ポリオレフィンメーカーでもあります。

3．映甫化学との提携の狙い

- (1) アジアでは日本に次ぐ市場である韓国で実績の高い映甫化学と提携することで、早期にアジア市場での優位性をより強固なものにし、世界シェアの拡大をはかる。
- (2) 生産拠点、技術力、販売網等を効率的に融合・活用することにより、さらなるグローバル競争力の強化をはかる。特に、自動車向け材料はグローバル生産供給が基本であり、生産拠点の増加により全世界に向けて供給可能となる。

お問い合わせ先

高機能プラスチックカンパニー 機能材料事業部	06 - 6365 - 4525
コーポレートコミュニケーション部 広報担当	03 - 5521 - 0522

以 上

<ご参考>

1. 会社概要

積水化学工業株式会社

本社所在地： 大阪市北区西天満二丁目4番4号

代表者： 取締役社長 大久保尚武

資本金： 100,002百万円(2002年3月31日現在)

売上高： 845,496百万円(2002年3月31日現在連結ベース)

従業員数： 18,399名 (2002年3月31日現在連結ベース)

映甫化学株式会社(Young Bo Chemical Co., Ltd.)

本社所在地： 大韓民国大田市儒城区伏龍洞236

代表者： 代表理事 李 暎植

資本金： 100億ウォン

売上高： 66,776百万ウォン(2002年12月31日現在)

従業員： 309名 (2002年12月31日現在)

2. 高機能プラスチックカンパニーの概要

(1) 売上高、営業利益推移(単位：億円)

	2000年度実績	2001年度実績	2002年度計画
売上高	1,847	1,778	1,700
営業利益	45	40	100

(2) 事業分野

化学品関連	中間膜(自動車・建築の合わせガラス用) 接着剤、高機能樹脂、 ファインケミカル製品
テクノマテリアル関連	テープ(包装用、工業用) 工業用精密成形部品、発泡ポリオレ フィン、包装用・農業用フィルム、マーキングフィルム プラスチックコンテナ
ライフグッズ関連	家庭用プラスチック成形品
メディカル関連	プラスチック真空採血管、テープ医薬品、診断薬

3. 当社の発泡ポリオレフィン事業の沿革・生産拠点について

(1) 1965年 世界で初めて電子線を使った架橋方式を製造技術として確立し、商業生産を開始。

(2) 海外生産拠点 米国工場(1969年～ 2工場) オランダ工場(1971年～)

7拠点 豪州工場(1977年～) タイ工場(1996年～)

英国工場(1975年～、2000年=ゾートフォード社と提携、2002年=同社
へ資本参加)

中国工場(2002年12月 台湾鴻明実業社より経営権取得)

(3) 日本生産拠点 埼玉、愛知、愛媛の3拠点